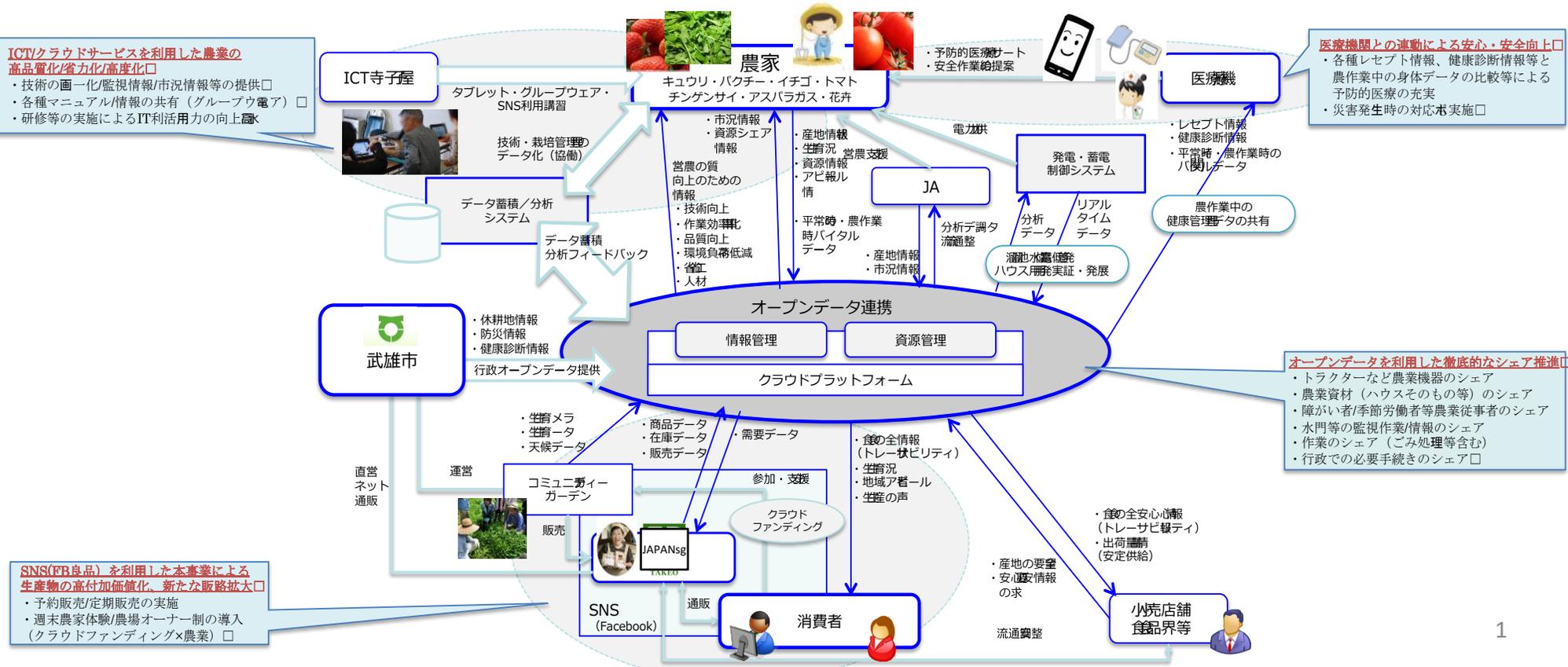


# オープンデータシティ武雄の見える化とエコシステムによる農業活性化事業

実施団体名	武雄市、株式会社SIIS、ネポン株式会社、NTTデータカスタマサービス株式会社、慶応義塾大学		
実施地域	佐賀県武雄市	実施期間	平成25年11月～平成26年3月
事業概要	<p>収益性の高い、やりがいのある農業の確立を目指し、ICTを活用した以下の取り組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営農管理による生産性等の向上</li> <li>・ 予防医療での安心安全ネットワークの確立</li> <li>・ インターネットを活用した農産品のブランド化と販売</li> </ul>		
実証結果	<p>営農管理において栽培上の事故回避、予防医療において保険指導による投薬治療開始（重症化の回避）、農産品ブランド化と販売においてECによる農産品販売実績等の成果を上げた。</p> <p>平成25年11月2日（土）に『ICT活用で武雄の農業が変わる！』シンポジウムを開催し、参加数は約150名であった。</p>		



# 事業の背景

- ① 営農管理による産性等の向上
- ② 予防医療での安心安全ネットワークの確立
- ③ インターネットを活用した農産品のブランド化と販売



収益性が高く  
やりがいのある  
農業の確立

## 農業労働力不足

- ・ 就農者の高齢化の進展
- ・ 若手就農者不足

## 農業所得の向上

- ・ 農産物の特産品化が必要
- ・ 売れる農産物対策(付加価値化)
- ・ 市場価格の調査が必要

## 武雄市農業における課題

## 就農時間の軽減

- ・ 就農時間の短縮を図る
- ・ 農業機械の共同利用の効率化

## 農業従事者の健康管理

- ・ ハウス内健康対策が必要
- ・ 熱中症対策が必要
- ・ 農作業事故が発生した場合の対策

## 環境負荷低減・省エネ対策

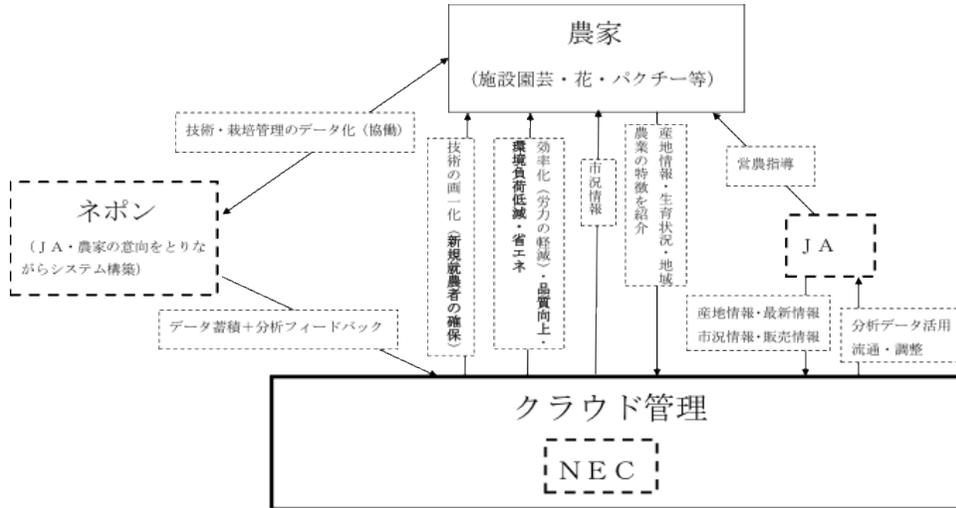
- ・ 燃料費の高騰対策
- ・ 減農薬の推進
- ・ 安全な農産物の供給、生産履歴

- ・ 農家一戸当たりの農業粗生産額が佐賀県内の七市のなかでも著しく低い
- ・ 農家人口の減少、高齢化の進行、耕作放棄地の増加への対応が課題
- ・ 集落機能の低下により農村の良好な環境保全活動には農業者だけでは限界がある など

# 取り組み概要

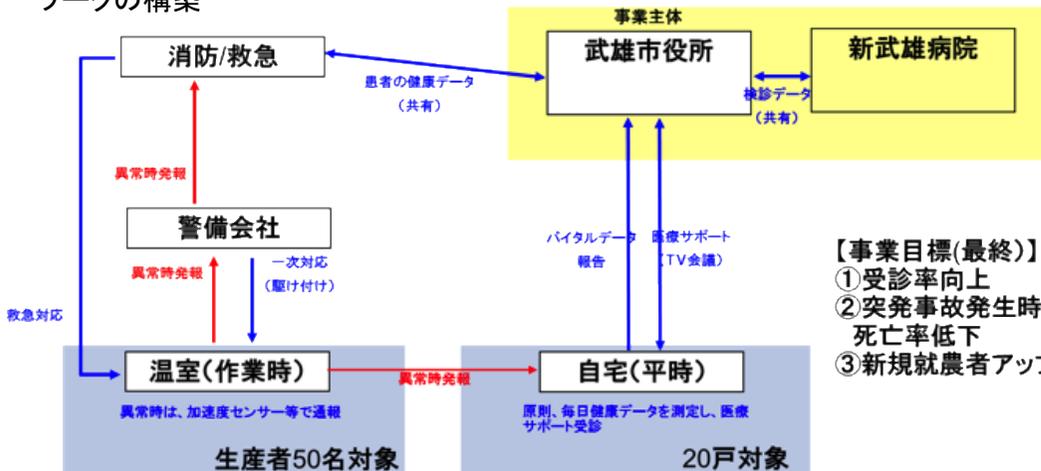
## ① 営農管理による産性等の向上

施設内状況の可視化や遠隔制御を行うことができるクラウドサービスの構築



## ② 予防医療での安心安全ネットワークの確立

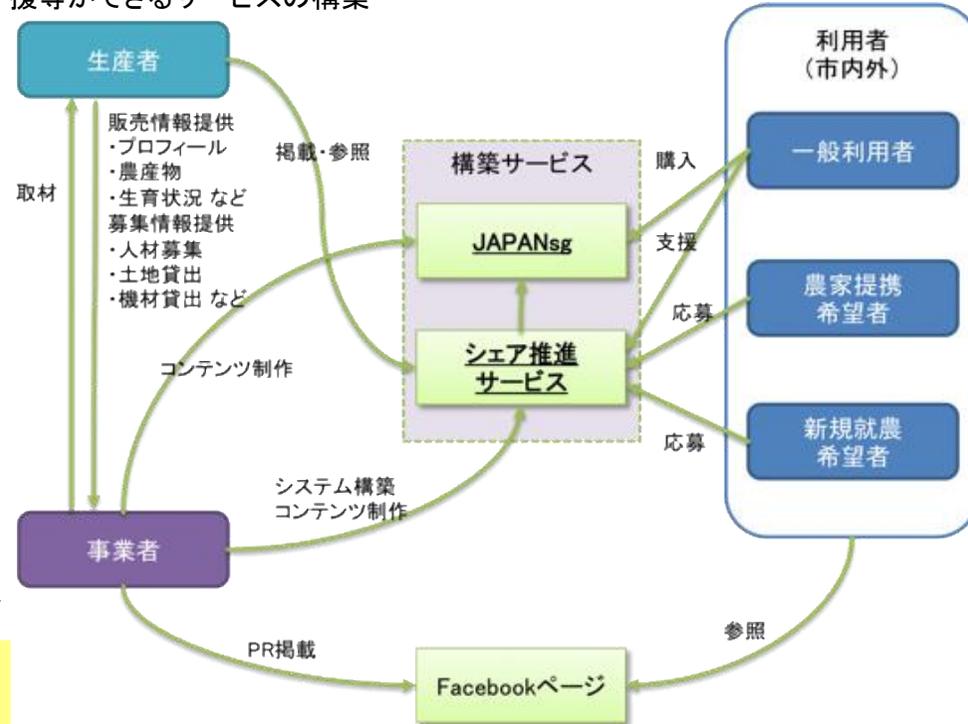
生産者のバイタル情報を収集し、医療機関等と連携することにより安全・安心ネットワークの構築



- 【事業目標(最終)】
- ① 受診率向上
  - ② 突発事故発生時の死亡率低下
  - ③ 新規就農者アップ

## ③ インターネットを活用した農産物のブランド化と販売

JAPANsgを活用した農産物販売、およびシェア推進サービスにより新規就農支援等ができるサービスの構築



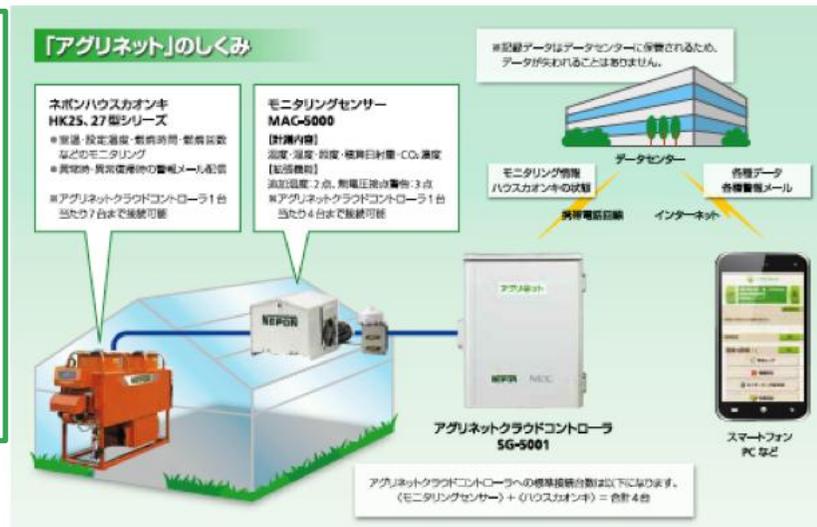
【参加者】武雄市農業従事者 13世帯 36名

本事業の達成目標

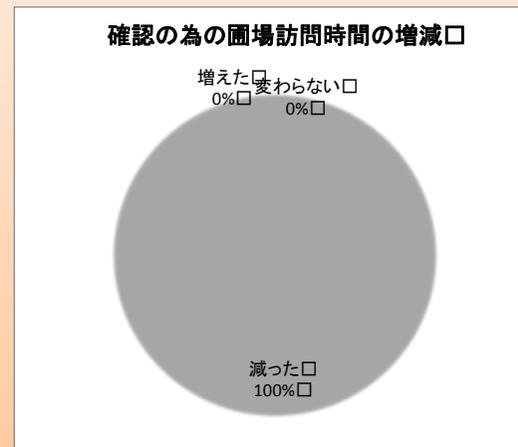
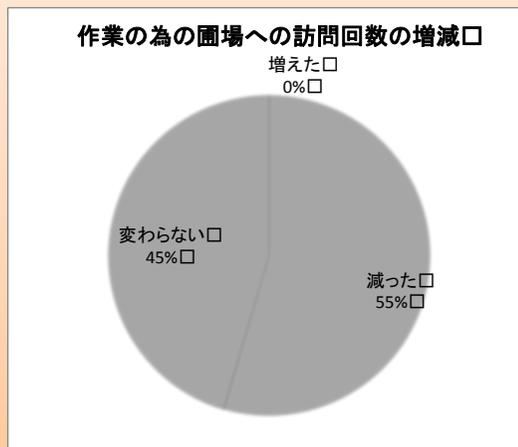
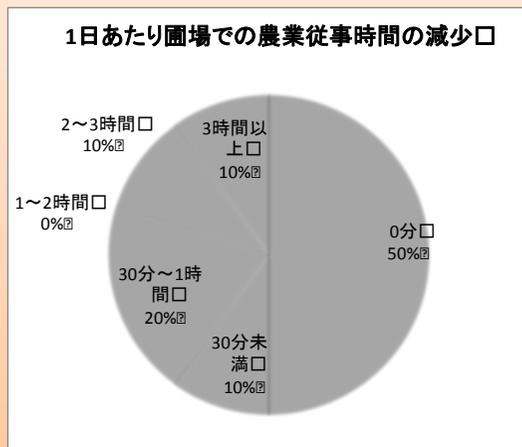
- ・収穫量・農業所得の向上
- ・就業時間の低減
- ・休日制の導入
- ・安心充足度の向上
- ・新規就農者の増加
- ・農作物単価・利益率向上
- ・農作物のインターネットでの販路確立

# 実証結果 ① 営農管理による生産性等の向上

- ・ハウスの警報サービス(トラブル時、警報メールの自動送信)
  - ・ハウスモニタリングサービス(各種センサー情報のグラフ化)
  - ・ハウス環境制御サービス(施設内装置の遠隔制御)
  - ・グループウェア機能(生産者と農協のネットワーク共有)
- +
- ・日に3回の定時圃場撮影機能
  - ・撮影画像のクラウドサーバ保存機能
  - ・アグリネット上での撮影画像の確認機能



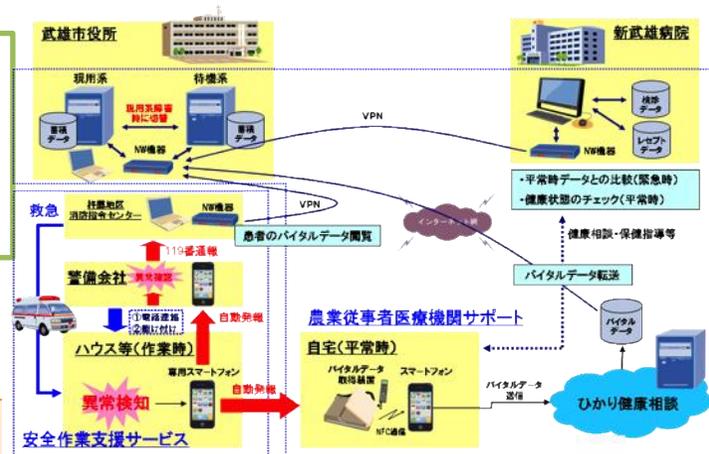
## 参加農家10～11名のアンケート結果



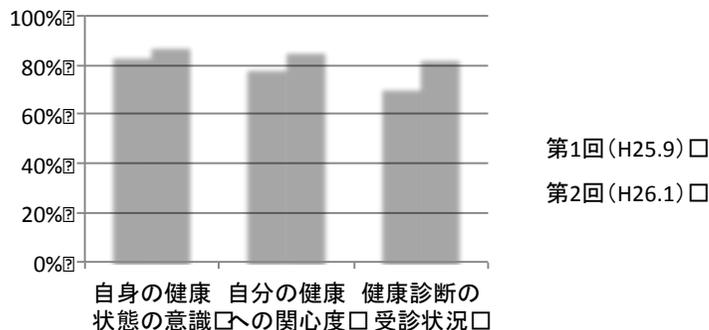
半数以上の農家が効率化されたと回答

# 実証結果 ② 予防医療での安心安全ネットワークの確立

- ・農業従事者医療機関サポートシステム  
バイタル測定(血圧計、体重計、歩数計等)に基づく保健指導の実施
- ・安全作業支援サービス  
スマートフォンによる農作業中の転倒事故等の検知と安否確認

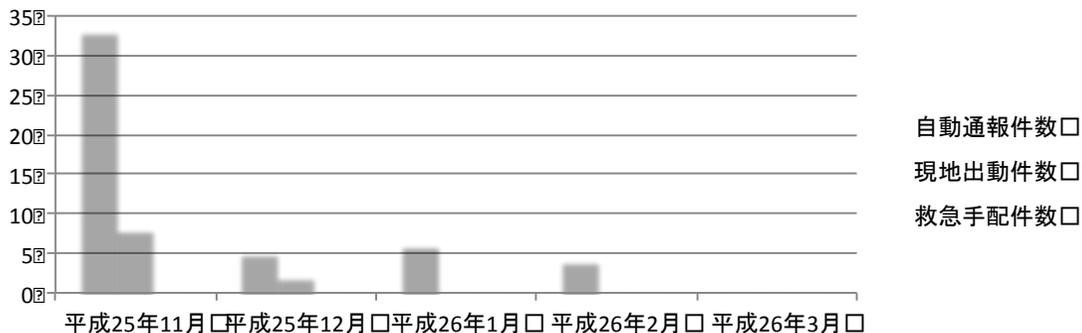


安心充足度アンケート結果



農業従事者の健康への意識が  
実証実験後に向上

警備会社対応



期間前半は誤検知が多発  
後半は検知精度を向上  
(全通報において安全を確認)

# 実証結果 ③インターネットを活用した農産品のブランド化と販売 他

- ・JAPANsg(ECサイト)による農産品の販売
- ・新規就農者向け情報の提供
- ・農業に資する地元の活動を支援するためのクラウドファンディングサービスの構築
- ・Facebook等での情報発信



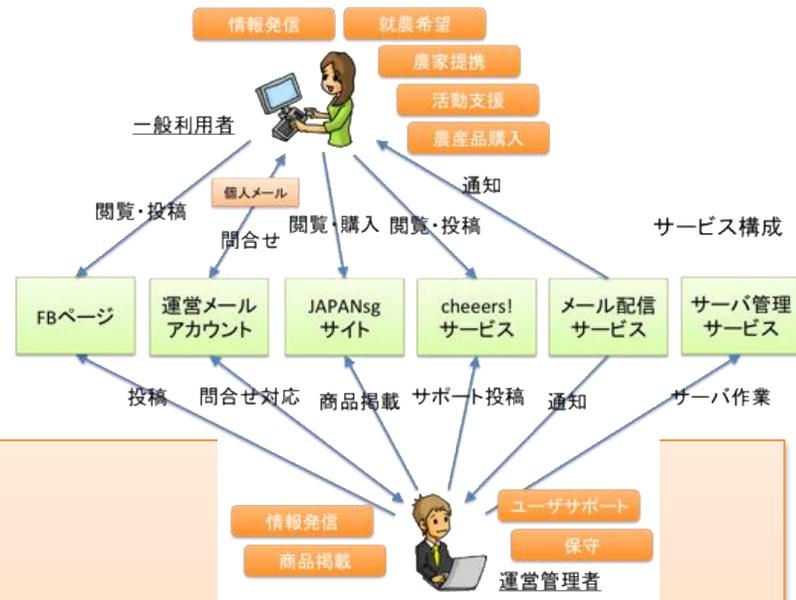
**農産品の販売実績**  
8商品 66点 171,855円



**情報発信数**  
ページ4種 44件発信 2,345フィードバック

**クラウドファンディングプロジェクト活動実績**  
プロジェクト成立 1件  
プロジェクト廃案 1件  
プロジェクト掲載調整中 2件  
プロジェクト検討中 2件

**地元住民等から多くの支持**



# 実証結果 シンポジウムの開催

『ICT活用で武雄の農業が変わる！』シンポジウムの開催  
平成25年11月2日(土)

- 特別講演『世界が夢中になる農産品のブランディング』  
講師:ヒミ\*オカジマ氏

## 農産物の付加価値向上のためのブランド戦略の講演

- パネルディスカッション『ICT活用で武雄の農業が変わる！』

ハウス内の温度・湿度・CO2等の管理と制御システム紹介  
農作業中の急病、事故などの検知による通報システム紹介  
現場の極小化による作業効率の向上  
農業のイメージを一新することで後継者の確保

- ワークショップ『武雄の農業』  
ファシリテーター:慶應義塾大学大学院 菊池 尚人氏

グループ  
ディスカ  
ッション

武雄農業への要望

魅力発信のための情報発信

SNSや紙媒体の活用

議論の展開

30~50代の約150名が参加  
農業でのICT活用への期待(関心)についてのフィードバック多数

武雄市ICT街づくり推進事業

## ICT活用で 武雄の農業が 変わる!

特別講演  
『世界が夢中になる農産品のブランディング』講師/ヒミ\*オカジマ氏

パネルディスカッション	ワークショップ
ICT活用で武雄の農業が変わる!』 パネリスト: 江口謙郎 氏(市内農協) ヒミ*オカジマ 氏 杉山雅志 氏(SINSEI株式会社) 太田次一 氏(オオタ次一株式会社) 大塚啓一 氏(アグロビオシステムズ) 山下原 隆 氏(武雄市 農林課長) コーディネーター/ 菊池尚人 氏(慶應義塾大学大学院)	『武雄の農業』 ファシリテーター/ 菊池尚人 氏(慶應義塾大学大学院)

お問い合わせ  
武雄市役所 つながる部 企画課  
TEL.0954(23)9325

13:00~15:30 武雄市文化会館  
ミーティングホール

ヒミ\*オカジマ  
編集者、H&M、NY Corp、  
雑誌編集、Hokuto、Tinton  
オーナー、フードロジックアカ  
デミー講師、コフレ・エッセ、大  
塚SAMURAIの会主宰など、  
雑誌にわたる連載。  
【H&M、TINTON】につ  
いて『美辞類義集』として  
コーポレーションの経営者層に  
料理のつづきなどでニューヨ  
ークを拠点に、アメリカ・イ  
タリヤのアカデミー賞も受賞  
『Time Out NY Foodアワ  
ード』(2011年)に「ベストフ  
ードライター」に選出。



会場風景

## ① 営農管理による生産性等の向上

本実証で得た栽培データを活かし、武雄市及び近隣におけるキュウリ及びトマト、いちご生産者へのクラウドによる栽培圃場の見える化と自動制御による業務効率化の普及促進を図る。

## ② 予防医療での安心安全ネットワークの確立

測定機器の操作性向上や見守りサービスの精度向上を図り、農業従事者の健康を維持向上するための仕組みとして他団体や自治体への展開を検討する。また、農業従事者だけでなく、高齢者福祉のための仕組みとしての展開も併せて検討する。

## ③ インターネットを活用した農産品のブランド化と販売

取り組み全体のモデルと併せて、サービスを他団体に展開することを検討する。